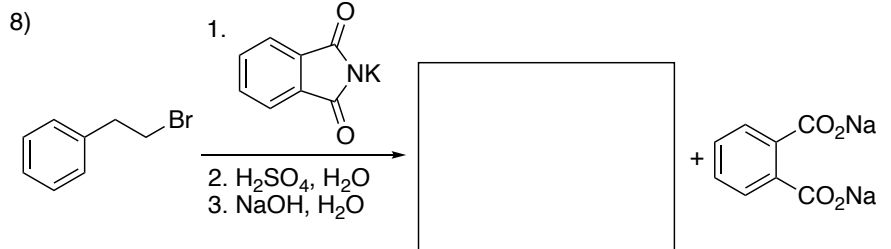
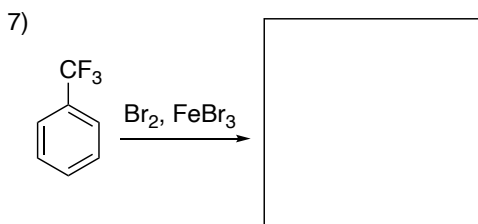
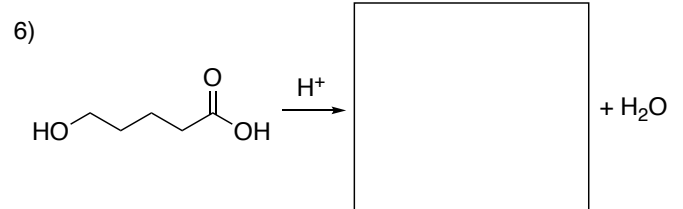
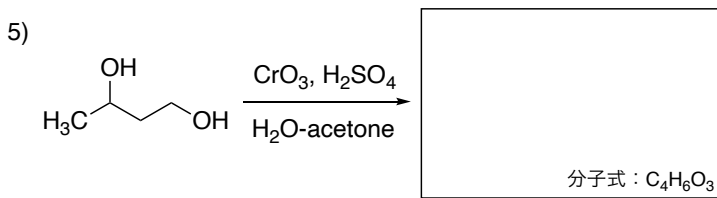
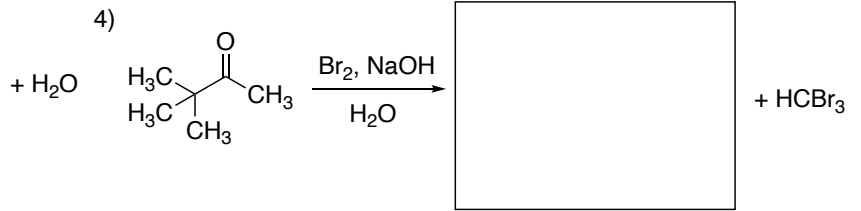
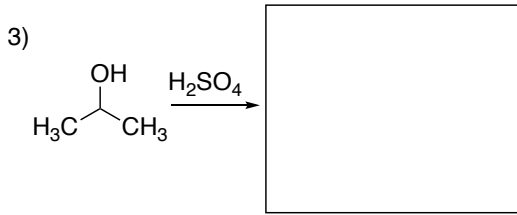
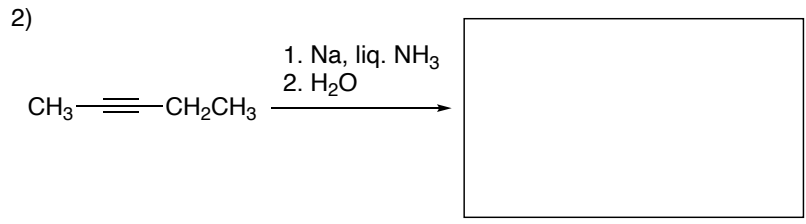
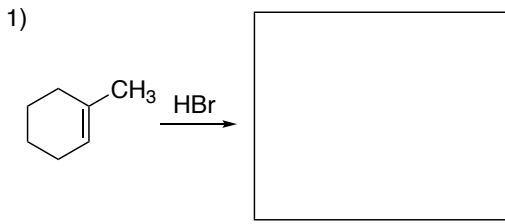
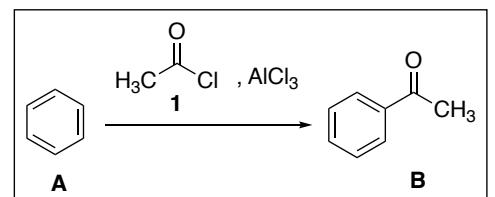


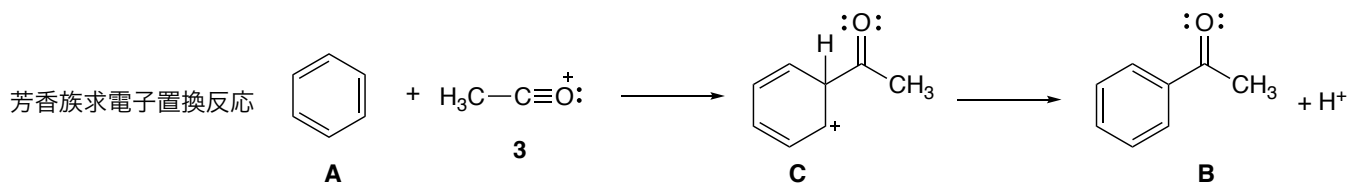
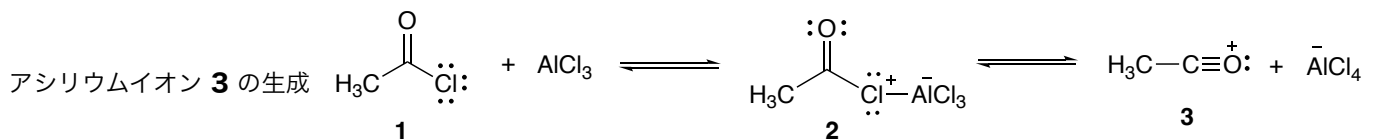
1. 以下の空欄に当てはまる化合物（反応の主生成体）の構造式を書きなさい。必要に応じて立体化学を明示すること。



2. 反応 **A** → **B** は「芳香族求電子置換反応」の一種である。まず、ハロゲン化アシリウムイオン **1** からアシリウムイオン **3** が生成し、アシリウムイオン **3** が求電子剤としてベンゼン **A** と反応することによりアセトフェノン **B** が生成する。この反応について以下の問いに答えなさい。



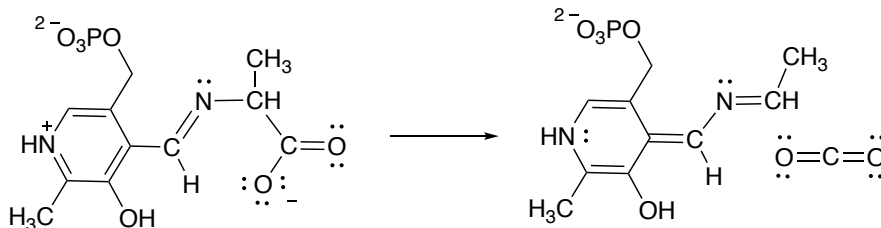
1) 以下に示すこの反応の反応機構のそれぞれの段階について、電子の動きを示す曲がった矢印を書き加えなさい（左から右へ）



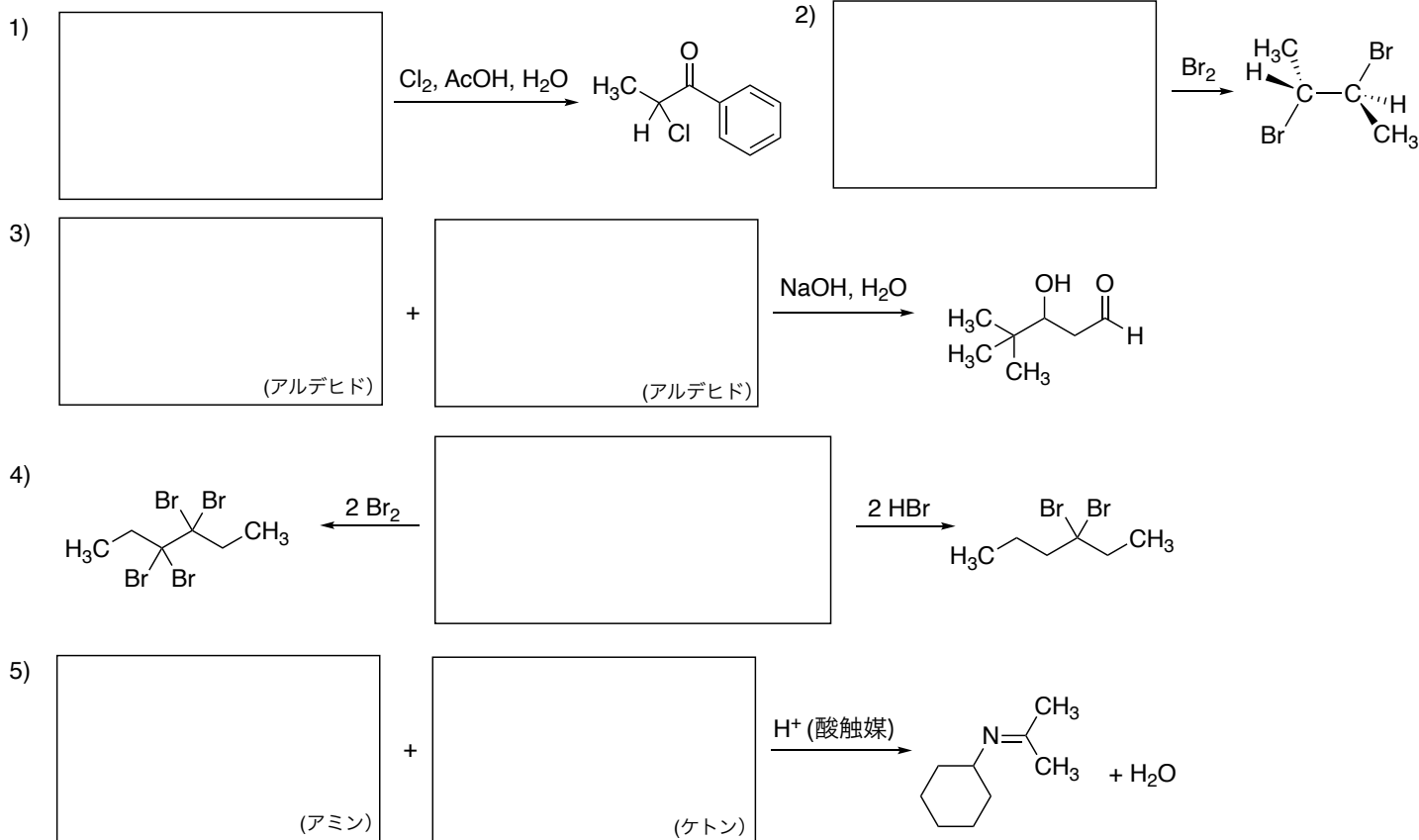
2) **A**, **B**, **C** のそれぞれが「芳香族」「反芳香族」「いずれでもない」のどれに相当するか答えなさい。

A _____ **B** _____ **C** _____

3. 以下の反応について、左側の構造式に電子の動きを示す曲がった矢印を書き加えなさい。



4. 以下の空欄に当てはまる化合物（目的の化合物を合成するための原料となる化合物）を書きなさい。



5. 以下の反応の機構を電子の動きを示す曲がった矢印で書きなさい。

